

スクミリンゴガイに登録のある主な農薬

薬 剤 名	成分	使用量	注 意 事 項
植代前 施用剤 (殺 貝)	石灰窒素	石灰窒素 30kg/10a 20～30kg/10a	(1) 石灰窒素による防除の注意事項参照。 (2) 漏水を防止する。 (3) 散布時には、周辺作物への飛散に注意する。 (4) 隣接圃場への流入に注意する。
育苗箱施用 (食害防止)	パダン粒剤4	カルタップ [®]	60～100g/箱 (1) 水産動植物への影響に注意する。 (2) 使用時期：は種前又は移植当日
本田施用剤 (殺 貝)	スクミノン ジャンボたにしくん スクミンベイト3	メタアルデヒド [®] メタアルデヒド [®] 磷酸第二鉄	1～4kg/10a 1～2kg/10a 2～8kg/10a (1) 処理後は水を止めて浅水(3～4cm 程度)で 3～4 日保つ。パダン粒剤4は魚毒に注意する。 (2) 使用時期
無人航空機 による散布	スクミンベイト3 スクミノン	磷酸第二鉄 メタアルデヒド [®]	2～8kg/10a 1～4kg/10a スクミノン：収穫 60 日前まで(2 回以内) ジャンボたにしくん：収穫 60 日前まで(2 回以内)
本田施用剤 (食害防止)	パダン粒剤4 上記薬剤及びその 混合剤(登録に留意 する)	カルタップ [®]	4kg/10a スクミンベイト3：発生時 パダン粒剤4：収穫 30 日前まで(6 回以内) (3) スクミノン、ジャンボたにしくん、スクミンベイト 3を処理した場合は、他の本田施用剤は1週間程度経過してから散布する。
刈 取 後 施 用 剤 (殺 貝)	石灰窒素	石灰窒素	20～30kg/10a (1) 石灰窒素による防除の注意事項参照。 (2) 散布時には、周辺作物への飛散に注意する。 (3) 隣接圃場への流入に注意する。 (4) 漏水を防止する。 (5) 水温 15℃以上の時期

※1 ラベルに記載された使用方法等を遵守すること。

※2 石灰窒素による防除(植代前の登録条件)

(1) 30kg/10a(2024 年に適用拡大)

荒起し後全面に散布、3～4cm に湛水し、3～4 日放置後植代を行う(漏水を防止すること)。

(2) 20～30kg/10a

荒起し後 3～4cm に湛水し、3～4 日後全面に散布、3～4 日放置後植代を行う(漏水を防止すること)。

* 注意事項

ア 効果を高めるためには、水中遊泳など貝の活動開始を確認してから石灰窒素を散布することが大切である。

イ 漏水田(または減水深の大きい水田)では効果が劣るので、事前に代かき等を行い漏水を防止しておく。

ウ 散布後は、水のかけ流しをしない。(効果の低下)。

エ 散布後、3～4日間(代かきが終わるまで)は落水しない。また、途中で水がなくならないよう、十分量湛水しておく。

オ ただし、湛水深が深すぎると、効果の低下につながる。

カ 水稻刈取後の散布では、水温 15℃以上の時期までの効果が高いので、散布時期が遅れないように注意する。

キ 石灰窒素は、肥料分として窒素を 20%含むので、田植前散布では石灰窒素の窒素成分は基肥として換算する。

愛媛県 HP の「農作物病虫害等防除指針(令和7年)」の 54～56 ページに「スクミリンゴガイの防除法」が掲載されていますので、ご参照ください。

【URL: <https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/144875.pdf>】